

CONTENTS 目次

- 2 特集 森島市長、就任のご挨拶
- 4 特集 矢板市泉きずな館本格始動！
- 8 やいたのみなさんコンニチハ・ヤイタゴハン ほか
- 10 子育てひろば・図書館へGO！ ほか
- 12 今月のニュース&トピックス
- 16 はつらつ通信
- 19 市からのお知らせ
- 32 クイズ&アンケート・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙の写真は、17日の新市長初登庁の様子を撮影したものです。

市職員のほか駆け付けたたくさんの市民に迎えられ登庁した後、就任式では、「皆さんとチームを組んで、矢板市政を前に進めていきたい」と職員に向けて訓示を述べました。

POPULATION 人口(4月1日現在)

30,412人 (△62)	出生	8人
男 15,137人 (△27)	死亡	32人
女 15,275人 (△35)	転入	146人
13,383世帯 (20)	転出	184人
( )内は3月1日との比較	※住民基本台帳をもとに算出	
△は減		



矢板市長 **森島 武芳**  
Morishima Takeyoshi

経歴／1986年8月22日生まれ  
すみれ幼稚園、矢板小学校、矢板中学校、宇都宮高校、筑波大学、筑波大学大学院、株式会社リクルート、矢板市議会議員  
趣味／ゴルフ、釣り、剣道、スキー、カメラ、サウナ

**就任のご挨拶**

令和六年四月七日に執行された市長選挙において、市民の皆さまのご信託を頂き、矢板市長として市政を担うこととなりました。

こうしてご挨拶できることを、大変光栄に感じていると同時に、ご期待と責任の重さを実感し、身の引き締まる思いであります。

矢板市を取り巻く現状は、全国の多くの自治体と同様、人口減少・少子高齢化、そして厳しい財政状況等に加えて、地域経済の減速も重くのしかかり、年々歳々を増してまいります。将来にわたり持続可能な矢板市の再構築が急務でございます。

そのような状況下においても、矢板市が「明るい未来を実感できるまち」となるよう、市政運営に全力で取り組んでいく所存であります。

具体的には、下は示した七つの柱で政策を推し進めてまいります。前職で身につけた「営業力」を最大限に活かして、先陣を切ってかじ取りを行っていく覚悟です。

その中でも、「一番に推し進めた」のが、「雇用・経済対策」です。矢板市が企業・起業に選ばれるまちになるよう、職員とアイデアを出しながら、全力で取り組んでまいります。最後は、矢板市の発展は、行政だけの力でなし得るものではないと、この四年間、多くの皆さまのご意見をいただきました。ありがとうございます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

矢板市長 森島 武芳



4月7日投票結果

	男	女	合計
当日有権者数(人)	12,860	13,207	26,067
投票者総数(人)	8,099	8,874	16,973
投票率(%)	62.98	67.19	65.11

4月8日、市役所で当選証書付与式が行われ、矢板市長選挙で当選した、森島 武芳氏に当選証書が付与されました。

矢板をよりよくする政策 7本柱

01. 雇用経済

- ・全国へ向けた企業誘致
- ・地元企業の徹底支援
- ・新規事業育成システム構築

02. 子育て

- ・仕事・子育て両立支援
- ・子育ての負担軽減
- ・子どもの遊び場の充実

03. 教育

- ・世界水準の教育の実現
- ・郷土愛を育み人材育成
- ・AI時代を生き抜くキャリア教育の実現

04. 高齢者福祉

- ・人とのつながりを応援
- ・やりがいにあふれた人生の実現
- ・移動手段の充実

05. 公共交通・道路

- ・循環バスを矢板版山手線に
- ・デマンド交通の利用充実と対象拡大
- ・15分で東西横断できる都市構想の実現

06. 防災

- ・浸水被害を繰り返さない徹底的な水害対策
- ・快適な避難環境の整備
- ・矢板を守るセーフティネット災害協定の拡大

07. イベント支援・矢板PR

- ・地域の行事を徹底サポート、人とのつながりを育む
- ・地域の文化を官民連携で後世へつなぐ
- ・地域資源を磨き上げた新しい観光モデルの開発